

平成27年第3回定例会9月議会 発言通告一覧表

市議会の本会議は、どなたでも自由に傍聴できます。通常、本会議は午前10時から開催されます。傍聴される方は議会棟3階傍聴者ロビーへ直接お越しください。発言内容の詳細については、次ページ以降をご覧ください。

発 言 順 位

9月11日(金)

(決算代表質問)

(1)	山崎	雄史	議員	(真誠会)	.....P	1
(2)	尾倉	あき子	〃	(公明党)	.....P	2
(3)	中西	礼皇	〃	(未来創造明石)	.....P	3
(4)	辻本	達也	〃	(日本共産党)	.....P	4
(5)	尾仲	利治	〃	(民主連合)	.....P	5

(一般質問)

(6)	梅田	宏希	〃	(公明党)	.....P	6
(7)	丸谷	聡子	〃	(未来創造明石)	.....P	8

9月14日(月)

(8)	楠本	美紀	〃	(日本共産党)	.....P	10
(9)	久枝	陽一	〃	(民主連合)	.....P	12
(10)	深山	昌明	〃	(真誠会)	.....P	13
(11)	国出	拓志	〃	(公明党)	.....P	15
(12)	出雲	晶三	〃	(未来創造明石)	.....P	16
(13)	宮坂	祐太	〃	(民主連合)	.....P	18
(14)	坂口	光男	〃	(真誠会)	.....P	19

9月15日(火)

(15)	松井	久美子	〃	(公明党)	.....P	20
(16)	井藤	圭湊	〃	(真誠会)	.....P	22
(17)	寺井	吉広	〃	(真誠会)	.....P	23
(18)	永井	俊作	〃	(市民クラブ)	.....P	25
(19)	遠藤	恒司	〃	(自由民主党)	.....P	27
(20)	家根谷	敦子	〃	(スマイル会)	.....P	29

※ 順位等については予定です。

平成27年第3回定例会9月議会発言通告一覧表

(決算代表質問)

発言順位	1	委員名	山崎雄史(真誠会)
質 問 事 項	1	<p><b>平成26年度決算全般について</b>                      (要旨) 一般会計では、歳入歳出ともに減で、実質単年度収支は3年ぶりの赤字となっている決算状況の中、市長就任2期目の財政運営は大変厳しいことが予想される。このたびの結果を踏まえ、現状認識をするとともに、今後に向けた歳入確保の方策を問う。</p>	
	2	<p><b>庁舎建設基金について</b>                      (要旨) 庁舎建設基金の積立率及び今後の建てかえ計画との整合性を問う。</p>	
	3	<p><b>教育費について</b>                      (要旨) 学校施設の耐震補強工事もほぼ終えたが、耐震補強以外にも施設の老朽化対策や良好な教育環境改善対策が急務とされている。そのような状況の中、平成26年度の成果を問う。</p>	
	4	<p><b>観光振興対策事業について</b>                      (要旨) 民間旅行会社との観光誘致施策により、観光客がふえている成果を感じるころはあるが、その具体的な経済効果の検証はなされているのかを問う。</p>	
	5	<p><b>明石市葬祭事業特別会計について</b>                      (要旨) 現在、あかし斎場旅立ちの丘は市の直営となっているが、行政のスリム化を図る上でも民間にできることは民間に移管することが望ましいと考える。他都市でも先例があるが、本市の方向性を問う。</p>	
	6	<p><b>明石市大蔵海岸整備事業会計について</b>                      (要旨) 国内景気は、世界情勢のあおりを受けるなど依然として安定しない。巨額の企業債を抱えた本事業の運営は、依然として不安要素が大きく、できる限り早期の事業清算が必要である。本市として、早期の事業清算が可能な具体的な政策転換について問う。</p>	

発言順位	2	委員名	尾倉 あき子 (公明党)
質 問 事 項	<p><b>1 平成26年度の決算状況について</b>  (要旨) 平成26年度の財政力指数、経常収支比率、地方債現在高比率それぞれについて市の見解をお聞きします。</p> <p><b>2 基金残高について</b>  (要旨) 3基金の平成26年度における現在高は約75億円で、前年度からわずかに増加しています。本年3月に策定された財政健全化推進計画においては、10年後に基金残高70億円を確保すると掲げていますが、今後の見通しについてお聞きします。</p> <p><b>3 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について</b>  (要旨) 平成26年度から国の給付金の支給が始まりましたが、臨時福祉給付金の申請率が兵庫県下において8割未満の市町も多かったと聞きます。本市の給付金の支給状況と本年度の申請率アップに向けた取り組みについてお聞きします。</p> <p><b>4 生活困窮者自立支援事業について</b>  (要旨) 平成25年12月、生活困窮者自立支援法が成立し、平成26年度に明石市は生活困窮者自立促進支援モデル事業を実施しましたが、その成果についてお聞きします。</p>		

(決算代表質問)

発言順位	3	委員名	中西 礼 皇 (未来創造明石)
質 問 事 項	<p>1 平成26年度における観光施策について (要旨) 観光施策の計画性と施策の展開体制について問う。</p> <p>2 平成26年度における市のPRについて (要旨) 効率的なPRとなっているのか。</p> <p>3 平成26年度におけるこども医療費助成について (要旨) 中学3年生までの完全無料化はコストに見合った効果が得られない。</p> <p>4 平成26年度におけるコミュニティ施策について (要旨) コミュニティ施策の効果及び市民活動支援の今後を問う。</p>		

発言順位	4	委員名	辻本達也(日本共産党)
質問事項	1	<p><b>秘書事務事業について</b></p> <p>(要旨) 市長は頻繁に東京へ出張しているが、その理由は何か。歴代市長と比べて多いように思うがどうか。</p> <p>「市長行動日記」から「市長ブログ」に変更されたが、以前と比べて更新される頻度が低くなっている。頻繁に東京出張していることなど、行動内容を明らかにしたくないからではないかと市民は疑念を抱いている。</p>	
	2	<p><b>こども医療費助成事業について</b></p> <p>(要旨) 成果と効果並びに制度実施による影響について問う。</p> <p>特に、制度実施にあたり、いわゆるコンビニ受診等による医師への負担増や財政的影響などについて懸念の声があったが、実態はどうか。</p>	
	3	<p><b>和坂公園整備事業について</b></p> <p>(要旨) 公園用地の擁壁の一部が沈下し、事業が予定どおり進められなくなっている。原因は何か。事業再開の見通しはどうか。</p>	
	4	<p><b>火葬場運営事業について</b></p> <p>(要旨) 壁・床の亀裂と雨漏りの発生原因をどのように考えているか。これらの問題に関する当該年度の対応について問う。</p>	
	5	<p><b>中学校給食導入事業について</b></p> <p>(要旨) (仮称) 東部中学校給食センター建設予定地の地中から大量の廃棄物が発見されたことと、その後の対応について問う。</p> <p>責任の所在が明確になっていないが、実施方式が決定する以前から地歴の調査を十分行わず「ジャストサイズ、ジャストタイミング」と発言するなど、同地に給食センターを建設することを前提に事業を強行した市長の責任は免れない。</p>	
	6	<p><b>海岸利用マナーアップ推進事業について</b></p> <p>(要旨) 市民から海岸利用者のマナー悪化を指摘する声が多数寄せられているが、市の取り組みはどのように行われたか。</p>	
	7	<p><b>土地改良事業におけるいなみ野ため池ミュージアム運営協議会への負担金について</b></p> <p>(要旨) ため池フォーラムについて、市長はどのように評価しているか。ため池フォーラムは無駄なのか。</p>	

発言順位	5	委員名	尾 仲 利 治 (民 主 連 合)
質 問 事 項	1	<b>平成26年度決算における財政指標について</b>	
		(要旨) 地方自治体の財政状況を判断する大きな目安となる、財政力指数・経常収支比率・地方債現在高比率・基金残高比率などを見ると、改善されたものもあるが悪化しているものもある。この現実をどう見ているか。	
	2	<b>保育事業について</b>	
		(要旨) これまで本市では、公立・私立保育所の定員をふやし、私立保育所の新設、分園をつくり、さらに病児保育・病後児保育事業、幼稚園での延長保育など相当な努力をしているが、待機児童ゼロとするに至っていない。平成26年度の取り組みの結果、課題はどのようなものか。	
	3	<b>平成26年度、農業に係る各種事業を実施した結果をどう捉えているか。</b>	
	(要旨) 農業一般振興事業、水田農業振興対策事業、野菜産地育成事業、地産地消推進事業、さまざまな土地改良事業等がなされている。農業を持続性のある産業にするためには、平成26年度の各種事業を実施した結果、どのような課題があったのか。		
4	<b>平成26年度、漁業に係る各種事業を実施した結果をどう捉えているか。</b>		
	(要旨) 水産一般振興事業、栽培漁業推進事業、のり養殖緊急支援対策事業、沿岸漁場整備・構造改善事業など、さまざまな事業を展開している。明石の漁業を特色ある漁業、持続性のある産業にするためには、平成26年度の各種事業を実施した結果、どのような課題があったのか。		
5	<b>平成26年度学校エレベーター設置状況について</b>		
	(要旨) エレベーターを設置した経緯と今後の課題について聞く。		

発言順位	6	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p><b>1 市制100周年記念事業と庁舎について</b></p> <p>(1) 都市ビジョン策定ワーキンググループの設置について  (要旨) 9月4日に設置したとあるが、3月議会の答弁で「昨年5月に庁内職員による政策課題検討チームを立ち上げ、市制施行100周年記念夢事業をテーマに検討している」とあり、両者の関係性はどうなるのか。また、担当事務を年内に取りまとめた後の展開とスケジュールについてお答えください。</p> <p>(2) 本庁舎と市制100周年事業との関係について  (要旨) 市制100周年と明石城築城400年という絶好の機会に本庁舎竣工を見ることは非常に厳しいとの見解をお聞きしたが、それではどのような関係に位置づけるのか。市制100周年に竣工が望ましいが、最低でも建設の槌音が聞こえるか、起工式を記念事業としたいと思うが、見解をお答えください。</p> <p>(3) 本庁舎の建設用地について  (要旨) ワーキンググループの担当事務として、建てかえに係る基本的な方向性(場所、土地利用など)とある。長期的な展望から見る時、本庁舎を明石市の中心地域に移転し、全市的な利便性を重視すべきであると考え。大久保町連合自治会の要望書内容には全面的に賛成であり、加えて用地の資産活用で財政負担を軽減できるPFI方式等も検討してはどうかと思うが、見解をお答えください。</p> <p><b>2 大久保北部の交通計画について</b></p> <p>(1) 山手環状線の進捗と交通安全対策について  (要旨) 山手環状線の西部地区整備については一部供用開始となり、平成27年度末には山手小学校南側が完成予定であります。供用開始になれば県道大久保稲美加古川線から国道2号へのバイパス利用が急増するため、信号機設置等の安全対策が急務であります。西部全面開通の進捗状況と安全対策についてお答えください。</p> <p>(2) 大久保町茜北部里道の整備計画について  (要旨) 大久保町西脇土地区画整理事業に合わせて山手台地区との交通アクセス向上のため里道整備を計画しているが、諸般の事業により車両規制中である。児童の登下校時の安全対策や救急車の搬送時間短縮、交通の利便性等からも住民との合意が取れる広域的な対処が待たれるが、今後の取り組みについてお答えください。</p>		

発言順位	6	議員名	梅田 宏希(公明党)
発言事項	<p>(3) 大久保町緑が丘・山手台地域の交通弱者対策について  (要旨) 当該地域は高齢化が進み交通弱者が多く、唯一のスーパーマーケットが移転してしまい、食料品、日用品を買うために大変不便な地域になりました。山手環状線西部地区の全面供用開始に合わせて、たこバス運行を検討してはどうかと思いますが、見解をお答えください。</p> <p><b>3 高年福祉について</b></p> <p>(1) 健康寿命を伸ばす契機にヘルスポイント制度を導入することについて  (要旨) 厚労省によると、2013年調査で、日本人の健康寿命と平均寿命は男性で約9年、女性で約12年の開きがある。介護が必要となる原因に運動器障害がある。国は5月に保険者の努力義務として健康づくりに関する市民の自助努力を支援するよう規定し、各保険者が「ヘルスポイント制度」を実施しやすくする指針を示すことになった。一定の運動をしたり、検診を受けた場合に付与されるが、市民が楽しみながら健康寿命を伸ばす施策としてぜひ導入をしたいが、見解をお答えください。</p> <p>(2) 認知症高齢者見守り事業の充実について  (要旨) 徘徊行動のある認知症高齢者の対策については、検索性端末の貸与も行っていますが、登録者に対して利用者が特段にふえてはいない現状である。そこで、明石市社会福祉協議会が取り組んでいる徘徊・見守りSOSネットワーク事業のさらなる拡充とあわせて、認知症高齢者へのQRコード付シール等の配布で、双方向からの迅速な保護を提案したいが、見解をお答えください。</p>		

発言順位	7	議員名	丸谷 聡子 (未来創造明石)
発言事項	<p><b>1 明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について</b></p>		
	<p>(1) 創生総合戦略策定の進捗と推進状況について  (要旨) 創生総合戦略の策定に当たって、9月8日にようやく第1回目の創生本部会議を行うことになっているが、積極的に発信されている近隣市と比べると出遅れている。策定の進捗と推進について問う。</p> <p>(2) 創生総合戦略策定における市民参画について  (要旨) 地方創生は、市民起点、市民参加を進化させたものでなければならぬことから、積極的に市民の声を聞く場、市民会議等の設置が必要だと考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 創生総合戦略における女性の活躍の機会を創出することについて  (要旨) 明石で子どもを産みたい、育てたいと思ってもらうためには、子育て中、育児休業中のお母さんがスキルアップするための機会を創出する「子育てママのための奨学金制度」や市職員採用に当たって「子育て経験枠」を設ける等の新しい発想や仕組みづくりが必要だと考えるが、市の見解を問う。</p>		
	<p><b>2 明石市一般廃棄物処理基本計画「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」について</b></p>		
	<p>(1) 明石市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について  (要旨) 平成24年3月に策定した明石市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況を問う。</p> <p>(2) ごみ処理量の目標値について  (要旨) 平成32年度のごみ処理量の目標値を84,000トンとしているが、平成22年度101,161トン、平成25年度97,110トンと目標値にはほど遠い状況にある。この5年間、目標値の達成に向けて、ごみ減量の施策をどのように行ってきたのかを問う。</p> <p>(3) 明石市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて  (要旨) 10年間の基本計画において、中間の5年で見直しを行うとなっているが、本年度、計画より一年前倒しで見直しを行っている。早くなった理由は何か。また、どのような方法で検証を行い、その結果は基本計画にどう反映されるのかを問う。</p> <p>(4) 資源ごみの持ち去りについて  (要旨) 市民から資源ごみの持ち去りの実態をよく聞くが、現状をどのように把握しているのか。また、近隣市では資源持ち去り禁止条例を策定しているが、本市はどのような対策を行っているのかを問う。</p>		

発言順位	7	議員名	丸谷 聡子 (未来創造明石)
発言事項	<p><b>3 明石市のため池に関する施策について</b></p> <p>(1) 平成27年4月1日施行の兵庫県条例、ため池の保全等に関する条例において掲げられている市町の責務について、本市はどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 条例にうたわれているため池の多面的機能について</p> <p>①市民、地域、学校、行政、専門家等、多様な人や団体のネットワークにより環境学習や地域活動、市民活動が進められてきた成果をどのように認識しているか。</p> <p>②それら先進事例の成果をこれから定める施策にどう生かしていくのか。</p> <p>(3) いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の構成団体である市としての認識は。</p> <p>((1)~(3)の要旨) 兵庫県が平成27年4月1日から施行したため池の保全等に関する条例においては、市町の責務が掲げられている。中でも、ため池の多面的機能の発揮の促進について、本市は、市民、地域、学校、行政、専門家等、多様な人や団体のネットワークにより、環境学習や地域活動、市民活動が進められてきた。それら先進事例の成果をこれから策定する施策にどう生かしていくのか。また、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会の構成団体としての認識を問う。</p> <p><b>4 全小中学校へのエアコンの設置について</b></p> <p>(1) 全小中学校のエアコン設置の計画及び予算等について</p> <p>(要旨) いつまでに設置されるのか、総事業費はいくらかかるのか等を問う。</p> <p>(2) 教育面、健康面、環境面、それぞれの課題における市の見解について</p> <p>(要旨) 教育面、健康面、環境面において、それぞれの課題があると考えるが、市の見解を問う。また、児童生徒、先生、保護者等の当事者の声をどのように把握しているのかを問う。</p> <p>(3) エアコン設置に伴う環境教育の推進について</p> <p>(要旨) エアコン導入に伴う環境負荷を補うものとして、長岡京市では、環境教育を実施している。本市も見習うべき事例と考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	8	議員名	楠本 美紀(日本共産党)
発言事項	<p><b>1 マイナンバー制度</b></p>		
	<p>(1) マイナンバー制度の周知について  (要旨) マイナンバー制度の周知は徹底されているのか。  自治会の回覧でのチラシ、広報でのお知らせはされているところだが、自治会に入っていない方、新聞を取っておられない方への周知はどうするのか。</p> <p>(2) 簡易書留のため多数返送される可能性がある。どのように対処するのか。  (要旨) 市に送り返されたナンバー通知書をどのように届けるのか問う。</p> <p>(3) 市独自の電話相談窓口も必要ではないか。特にナンバー通知書が届いてからは、問い合わせがふえるのではないか。  (要旨) 自治会の回覧で通知された相談窓口で電話したところ、つながるまでに30分かかったことから、対策が必要と考える。</p> <p>(4) マイナンバーカードの発行時、受付窓口に市民が殺到した場合、本人確認に時間がとられる。この時、成り済ましの危険が考えられるが、対策は考えているのか。  (要旨) 平成28年1月からマイナンバーカードの発行が始まるが、受付窓口に殺到することが予想される。本人確認に時間がとられ大変な混雑が予想されるが、その対策は考えているのか。</p> <p>(5) 自治体での利用範囲の拡大は考えているのか。その場合、システム改修費用はどのくらいかかると考えられるのか。  (要旨) 今回の改正で金融機関や健康にかかわる情報が拡大された。今後どうなるのか。</p> <p>(6) 初期費用、ランニングコスト、費用対効果は。  (要旨) 当初、全額を国の費用で行われるということも言われていたが、市の負担があまりにも多くなっているのではないか。</p> <p>(7) 平成27年8月の法改正で金融機関や健康にかかわる情報を国が管理できるようになった。ますます利用範囲が広がるが、セキュリティ対策は大丈夫なのか、市民が損害を被ることはないのか。  (要旨) ハッカーや成り済ましなどが起こった場合、市の責任で対処できるのか。</p> <p>(8) 国民の利便性をはるかに超えるさまざまな問題を抱えたマイナンバー制度、市長として、国に対して廃止を求める意見表明を行うべきと考えるが、どうか。  (要旨) マイナンバーの一元管理は行わないとしているが、全自治体が番号通知事務を地方公共団体情報システム機構(J-LIS)に委託し、そこに住民情報が集中することも危惧される。</p>		

発言順位	8	議員名	楠本 美紀（日本共産党）
発言事項	<p><b>2 本のまち明石について</b></p> <p>(1) 学校図書館の地域開放として、夏季休業期間等に学校図書館を地域に開放することがうたわれているが、現状はどうか。</p> <p>（要旨）市民図書館整備基本計画では、学校図書館の地域開放として、夏季休業期間等に学校図書館を地域に開放することがうたわれているが、身近な図書館として実行していただきたいと考える。</p> <p>(2) ブックスタート制度を取り入れてはどうか。</p> <p>（要旨）ブックスタートは、市区町村自治体が行うゼロ歳児健診などの機会に、「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動である。赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届けることが必要と考える。</p>		

発言順位	9	議員名	久枝陽一(民主連合)
発言事項	<p><b>1 高齢者介護施設について</b></p> <p>(1) 高齢者人口、要介護認定者数の推移から考える特別養護老人ホーム申し込み数について (要旨) 高齢者が増加し、それに伴い要介護認定者も増加すると考えられるが、その内、特別養護老人ホームへの入居希望者はどの程度増加すると推計しているのか。</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム入所希望者に対する必要施設数について (要旨) 現状でも多くの方が特別養護老人ホームを申し込んでおり、順番待ちの状態が続いている。今後も要介護者がふえる状況で、このような状態が解消されるためにはどの程度施設が必要なのか。</p> <p>(3) 今後の介護保険施設の整備計画について (要旨) 今後の整備計画において地域密着型介護老人福祉施設をふやしていく方向にあると思うが、もっと早急にふやすことはできないのか。</p> <p>(4) 要介護2及び1の人に対する例外の取り扱いについて (要旨) 特別養護老人ホームの入所基準について、平成27年4月から要介護3以上になったが、例外として要介護2及び1の方でも入所できるようになっている。本来は施設をふやし、要介護2や1の方でも入所できるようにするべきではないか。</p> <p><b>2 人口問題について</b></p> <p>(1) 今年度の人口推移について (要旨) 昨年、一昨年と人口が増加したが、本年も8月1日時点では増加傾向にある。今年度の傾向と予想はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 人口増加の要因について (要旨) 人口増加は社会動態が増加に転じたためであるが、その主な要因についてどのように調査し、分析しているのか。</p> <p>(3) 今後の対策について (要旨) 社会動態の増加を維持するためにも新駅を含む交通インフラの充実や企業誘致に取り組むべきと考えるが、市としての見解は。</p>		

発言順位	10	議員名	深山昌明(真誠会)
発言事項	<b>1 市立高齢者大学校あかねが丘学園の移転後の土地活用について</b>		
	(1) 避難所である体育館の耐震化について (要旨) 1, 040㎡ある体育館は災害時の避難所ですが、耐震工事はできていません。住民の生命・身体・財産を保護するためにも対策が必要だと考えるが、市の見解を問う。		
	(2) 朝霧コミセン・グラウンド確保について (要旨) 朝霧コミセンでの活動状況は、年間2, 553件、45, 389人であり、朝霧中学校内の朝霧北コミセンの2倍の利用状況です。10, 900㎡のグラウンドはドクターヘリの基地にもなっています。東部地域においては集会所も少なく、グラウンドも学校以外にはほとんどありません。早急に検討すべきと思うが、市の見解を問う。		
(3) 土地の評価額について (要旨) 本市の厳しい財政の中、土地の評価額を検討し、跡地活用の方針を決めるべきだと思うが、市の見解を問う。			
<b>2 社会保障・税番号制度の本市の対応について</b>			
(1) 本市の対応状況について (要旨) 平成27年10月5日に、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法が施行されます。法律の施行に伴い、市民に個人番号、いわゆるマイナンバーが付番され、各世帯に通知カードが送付される。本市での準備対応が必要と思われるが、市の見解を問う。			
(2) 個人情報流出の対策について (要旨) 個人情報流出などから守られるのか、不安を持っておられる市民が多くおられます。本市としても対策が必要と思うが、市の見解を問う。			
(3) マイナンバー制度による市民サービスの向上について (要旨) マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤となるものと言われていますが、市民サービスの向上になるのか、市の見解を問う。			
<b>3 自転車保険について</b>			
(1) 自転車通学している生徒の自転車保険の加入状況について (要旨) 魚住中学校では、1年生38名、2年生32名、3年生34名の合計104名が自転車通学をしている。自転車保険への加入が必要と思うが、市の見解を問う。			

発言順位	10	議員名	深山昌明(真誠会)
発言事項	<p>(2) 自転車保険の助成について  (要旨) 小野市においては、兵庫県が自転車保険の加入を義務付ける条例を制定したのに合わせて、1世帯当たり1,000円を助成しています。本市においても助成が必要と考えられるが、市の見解を問う。</p>		
	<p><b>4 国道2号和坂交差点拡幅道路改良事業について</b>  (1) 事業の進捗状況について  (要旨) 国道175号から和坂2丁目交差点までは、明石市が担当しており、平成23年10月23日の地元説明会では、用地取得が31%で、25年度ごろから工事に入りたいとのことでした。また、兵庫県議会第317回定例会での理事者答弁では、これまで進めてきた用地買収は、地元との協議調整に時間を要したことから、進捗状況は面積ベースで50%となっています。工事については、和坂2丁目交差点から和坂交差点の約700mを重点的に進めますとのこと。しかしながら、いまだに工事が始まっていません。渋滞を避けるため車が通学路に進入しており、子どもたちの安全のためにも早期着工が必要と考えるが、市の見解を問う。</p>		

発言順位	11	議員名	国出拓志(公明党)
発言事項	<p><b>1 防災について</b></p> <p>(1) 明石版「おまもりてちょう」を作成し、子どもたちに配布できないか。  (要旨) 宮城県内では小学校1年生に「おまもりてちょう」というものを配布しています。明石版「おまもりてちょう」を作成し、子どもたちに配布できないか。</p> <p>(2) 防災士育成に対する助成金について  (要旨) 市としては防災士を志す市民を対象にできるだけ力添えをしていく中で、いざという時のために防災・減災の市民力の向上を図っていくべきではないか。</p> <p>(3) ひょうご防災リーダー講座の受講者のために、市として無料送迎バスを出さないか。  (要旨) 明石駅を発着点として、三木市にある兵庫県広域防災センターまで通われる市民の受講者のために、無料の送迎マイクロバスが出せないか。</p> <p>(4) 市と明石工業高等専門学校の防災士の方々、明石市民の防災士の方々、さらには兵庫県防災士会との連携で、市内28小学校区を対象にした防災訓練や研修ができないか。  (要旨) 何らかの防災・減災の取り組みが各小学校区単位で過不足なく行うことはできないか。</p> <p>(5) タイムライン方式で災害に備えないか。  (要旨) ①現在までにそのような協議はされたのか。  ②タイムライン方式についての認識は。  ③今後は策定が必要と考えるがどうか。</p>		

発言順位	12	議員名	出雲 晶 三 (未来創造明石)
発言事項	<p><b>1 山陽電鉄連続立体交差第2期事業について</b></p> <p>(1) 山陽電鉄連続立体交差第2期事業の進捗状況と、これからの工事工程について</p> <p>(要旨) 仮跨線橋撤去工事は本年6月20日に無事竣工した。この工事は本事業の一番の難所と言われていたが、無事の竣工に多くの市民は感激に浸った。そして鉄道は高架になり、すぐに国道2号の踏切は撤去されたが、まだまだ事業は進むため、本事業の進捗状況を聞く。そして全事業の竣工は平成29年度末と聞いているが、竣工までの詳しい工事工程について聞く。</p> <p>(2) 国道2号と周辺道路の安全対策について</p> <p>(要旨) 踏切撤去後、国道2号交差点で事故が発生している。工事がふくそうする中、国道2号や周辺道路の通行がしにくくなっている。周辺道路を含めた安全対策と安全への心構えを聞く。</p> <p>(3) 高架下の利活用計画について</p> <p>(要旨) 平成29年度末の全事業竣工後には、西新町駅の東西に利活用可能な高架下がかなり出現する。高架下の利活用計画について、市並びに山陽電鉄はどのように考えているのか、具体案を聞く。</p> <p>(4) 地域住民が要望する駅前交番と、国道2号の横断歩道設置について</p> <p>(要旨) 多くの地元住民や連合自治会並びに各種団体が、高架下に駅前交番を切望されている。また、明石川をまたぐ明石大橋西詰の国道2号に横断歩道の設置も求められている。これらの実現に向けての考えを聞く。</p> <p><b>2 明石川の治水とJR橋梁について</b></p> <p>(1) 明石川にかかるJR橋梁の改築について</p> <p>(要旨) 明石川にかかるJRの橋梁は、下部工は127年経過し、上部工は53年経過している鉄橋である。昨年の12月議会の答弁では、「兵庫県とJRが、このJR橋梁の改修工事の調査設計の協定を平成26年2月に締結し、概略設計の検討を進めている」と聞いた。その後の進捗状況と事業の着工時期について聞く。そして県が計画し、発表している工法で将来的に問題はないのかも聞く。</p>		

発言順位	12	議員名	出雲 晶三(未来創造明石)
発言事項	<p>(2) 明石川流域の治水対策の進め方について  (要旨) 明石川流域の住民は、大きな台風が来るたびに水害の心配をしなければならない。防災は、自助・共助・公助の3つの組み合わせが重要とされているが、公が平時に行う河川改修や雨水管整備など、ハード面の対策が不可欠である。今後どのように明石川流域の治水や浸水対策を進めていくのか、見解を聞く。</p>		
	<p><b>3 あかし斎場旅立ちの丘火葬場棟について</b></p> <p>(1) 火葬場棟の壁のひび割れと雨漏りに対してのこれまでの取り組みについて  (要旨) 平成23年5月に第1期が竣工し、平成25年2月に第2期が竣工した。どちらも数年もたたずして、壁がひび割れて雨漏りしだしたと聞く。火葬場棟がひび割れし、雨漏りしだしたのはいつ頃で、その発生状況はどのようなものだったのか。そして、これまでにどのような対処を行ったのかを聞く。</p> <p>(2) ひび割れと雨漏りの原因調査と瑕疵について  (要旨) 本年3月の本会議において、市長は、「徹底的に調査し、しかるべき対応をしっかりとる」と答弁している。どのように調査をして、調査結果はどのようなもので、どのように原因の特定ができたのかを聞く。さらに市は、施工上の瑕疵があったような答弁をしているが、施工上の瑕疵があったのかどうか、設計についても聞く。</p> <p>(3) 原因を特定するための公平公正に判断できる組織の設置について  (要旨) 原因を解明するには、公平な立場で公正な判断のできる第三者の組織が必要と考える。市側、施工者側、設計者側は、それぞれの立場があるため参加は求めず、学識者やコンクリート構造の専門家等で構成する第三者委員会等を設置し、原因を特定すべきと考える。市民の理解を得るためにも、施設を長く使うためにも、その組織で原因の徹底究明が必要と考えるが、見解を聞く。</p> <p>(4) 原因が特定された後の対応について  (要旨) 原因が特定され、ひび割れの補修以外に、ガラリ(羽板)の設置や通気口の設置、また空調設備等、補修以外の設備設置が必要となった場合、市はどのように対応するのか、見解を聞く。</p>		

発言順位	13	議員名	宮坂 祐太(民主連合)
発言事項	<b>1 コンパクト・プラス・ネットワークについて</b>		
	<p>(1) 地域公共交通網形成計画と明石市総合交通計画について  (要旨) 国は都市構造の集約化と交通網の再構築という2つの施策体系を相互連携により推進するコンパクト・プラス・ネットワーク構想を重点施策として位置づけ、財政面も含めて地方公共団体の取り組みを後押ししています。そして国は同構想の枠組みの中で、地方公共団体に対し、地域公共交通網形成計画の策定を促していますが、既に本市では交通政策全般を網羅した明石市総合交通計画を策定済みです。そこで、明石市総合交通計画の中で、地域公共交通網形成計画及びその実行計画である地域公共交通再編実施計画に盛り込むよう国が求めている内容が全て含まれているのか、そして地域公共交通活性化再生法改正を踏まえた今後の明石市総合交通計画改定の必要はないのか、お伺いします。</p> <p>(2) 本市の都市構造と立地適正化計画及びコンパクト・プラス・ネットワーク構想について  (要旨) 国はコンパクト・プラス・ネットワーク構想の枠組みの中で、地方公共団体に対し、都市計画マスタープランの高度化版とも言える立地適正化計画の策定を促しています。本市は市域が比較的狭く、一定程度、都市構造の集約化が図られている中で、立地適正化計画に対する考え、そしてコンパクト・プラス・ネットワーク構想全体についての考えをお伺いします。</p> <p>(3) まち・ひと・しごと創生総合戦略における都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成について  (要旨) 国の総合戦略に盛り込まれた施策体系の一つである都市のコンパクト化と交通ネットワーク形成について、今後策定される明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、どのような施策展開を考えているのか、お伺いします。</p>		

発言順位	14	議員名	坂口光男(真誠会)
発言事項	<b>1 明石市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みについて</b>		
	(1) 人口ビジョンについて (要旨) 2060年を目標にした人口ビジョンについて問う。 (2) 明石版総合戦略について (要旨) キーワードである「まち・ひと・しごと」についての認識と戦略を問う。 (3) 策定スケジュールについて (要旨) 平成27年度中に、2060年度の目標を見据え、当初5年間の実行内容、スケジュールを定めるものとしているが、進捗状況・内容を問う。		
発言事項	<b>2 西明石活性化プロジェクトへの取り組みについて</b>		
	(1) 市が主体となった最優先課題解決に向けた計画策定委員会の設置について (要旨) これまでの計画策定委員会の設置に向けた取り組みを問う。 (2) 最優先課題への対応スケジュールについて (要旨) 平成28年度以降の事業化へのスケジュールを問う。 (3) 最優先課題以外の課題への対応について (要旨) 今後の進め方についての認識を問う。		

発言順位	15	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p><b>1 明石駅前は「時のまち」明石として、ふさわしい整備を</b></p> <p>(1) 明石駅前再開発ビルが来年の11月に完成する中で、明石駅南側の駅前広場に時のまち明石のシンボルとなる時計の設置を。 (要旨) 駅前広場の工事が始まりましたが、再開発ビルの完成時に合わせて時のまちにふさわしい時計の設置を。</p> <p>(2) 明石駅前が大きく変わろうとする今、明石公園を訪れる観光客も多いことから、明石駅北側の駅前広場の整備も必要ではないか。 (要旨) 南側の整備に合わせて、北側の広場の整備も必要である。</p> <p><b>2 「女性から選ばれるまち・明石」の実現に向けた女性の活躍推進のための取り組みを</b></p> <p>(1) 女性の活躍推進に向けた国の取り組みが加速する中、女性から選ばれるまち・明石の実現に向けた今後の市の取り組み方針について (要旨) 明石市役所では平成27年7月10日付の人事異動に伴い、3人の女性部長が誕生し、女性の登用が進められている。8月に成立した女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定義務付けなど、今後の市の取り組みを問う。</p> <p>(2) 多様な主体による女性の活躍のための支援ネットワークの構築について (要旨) 今後、女性が活躍できる社会を実現していくために、行政が主体となり、市内で女性の活躍を推進するためのネットワークの構築が必要である。</p> <p>(3) あかし男女共同参画センターに、女性就業支援のワンストップ窓口の開設を。 (要旨) 兵庫県立男女共同参画センターでは、女性就業相談室が設置されている。明石市でも、ワンストップで相談から職業紹介までできる就労支援の窓口を開設し、女性の活躍支援に取り組むべきである。</p> <p><b>3 国道2号土山交差点の右折車線の設置を</b></p> <p>(1) 国道2号土山交差点の現状認識について (要旨) JR土山駅前にもかかわらず、国道2号西行き方面には右折車線がないため右折禁止となっており、大変不便であることから、交差点の改良が必要である。</p>		

発言順位	15	議員名	松井久美子(公明党)
発言事項	<p>(2) 県道宗佐土山線の交通渋滞の解消を含め、国道2号土山交差点に右折車線の設置を。  (要旨) 稲美町からの要望も多く、県、明石市、加古川市、播磨町、稲美町との連携で早期解決に向けての取り組みを。</p>		

発言順位	16	議員名	井藤圭湊(真誠会)
発言事項	<p><b>1 市制施行100周年に向けた取り組みについて</b></p>		
	<p>(1) 市制施行100周年に向けた取り組みの進捗状況について (要旨) 明石市制100年に向け、どのような組織と人員を配置して取り組みをしているのか、その進捗状況を伺いたい。</p> <p>(2) 明石城築城400年にあたって歴史的関係が深い都市との連携について (要旨) 小笠原忠政公が明石城を築城して400年の歴史を鑑み、小笠原公の前任地の長野県松本市、転封先の北九州(小倉)と歴史的経緯を踏まえた姉妹都市の連携を図り、歴史の検証と今後、城を通じた交流を図るその思いを伺いたい。</p>		
発言事項	<p><b>2 明石市地方卸売市場の活性化について</b></p>		
	<p>(1) 海外販路の開拓と卸売市場の活性化について (要旨) 平成27年4月から指定管理になった卸売市場の活性化の一つとして、新たな販路の開拓を目指してこのたび海外への販路を見出しているが、どのような経緯と具体的な取り組みをしようとしているのか。あわせて卸売市場の活性化が明石の地域経済に貢献をするのか伺いたい。</p>		
発言事項	<p><b>3 シティセールスの取り組みについて</b></p>		
	<p>(1) 転入促進キャンペーンの現状について (要旨) 転入促進キャンペーンは、実施から2カ月が経過しているが、マスコミでの報道も大きく取り上げられましたが、どのような状況になっているか伺いたい。</p> <p>(2) ふるさと納税について (要旨) 全国の自治体で寄付は受けるものの、特典競争の様相を呈しているようになっているが、明石市はシティセールスの観点からどのような取り組みをしようとしているのか伺いたい。</p> <p>(3) タコサミット開催の概要について (要旨) 7月2日付の神戸新聞で、明石市長は全国のタコの産地が一堂に会したタコサミットを平成28年度に開催すると発表した。どのようなサミットの開催を考えているのか伺いたい。</p> <p>(4) 関係団体との連携について (要旨) タコサミットを開催するとなれば漁業協同組合、飲食業組合、商店街連合会等の関係団体との連携は必須の条件であるが、どのような展開を図ろうとするのか、現状と今後の取り組みを伺いたい。</p>		

発言順位	17	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	<b>1 公共施設マネジメントについて</b>		
	<p>(1) 公共施設配置適正化実行計画の策定について  (要旨) 公共施設をマネジメントしていくためには、その基礎となる平成25年8月に作成した明石市公共施設白書を活用し、公共施設の個々の役割や機能、規模、配置状況、老朽化など、施設全体の状況を把握し、中長期的視点を持って、更新、統廃合、長寿命化などを計画的に実行していく必要がある。そのための公共施設配置適正化実行計画を策定中と聞いているが、進捗状況について問う。</p> <p>(2) 各施設の取り組み内容について  (要旨) 人口減少時代に入った中、今あるものと同じ量の施設をそのまま建てかえることは財政的にも市民サービスの面からも困難である。施設の有効活用や隣接市との共同利用による広域化など、施設の総量削減が必要と考えるが、市の見解を問う。</p> <p>(3) 施設の管理運営について  (要旨) 維持管理費用の削減のためには民間委託を進めることは必要だが、何でも指定管理にすればいいとは思わない。本当の市民サービスの向上につながっているのか。施設管理の効率化について、包括委託を含め、民間委託の考えを問う。</p>		
	<b>2 障害者差別解消条例について</b>		
	<p>(1) 進捗状況について  (要旨) 平成28年4月に予定される障害者差別解消法の施行に合わせて、現在、市で検討されている障害者差別解消条例の進捗状況を聞く。</p> <p>(2) 方向性について  (要旨) 障害者差別解消という大きなテーマを、一つの条例にまとめることは非常に難しいと思える。市が条例の柱と考える方向性について聞く。</p> <p>(3) 実効性について  (要旨) 障害者差別解消法は、差別解消に向けた枠組みは規定されているものの、具体的な取り組みについては、自治体にゆだねられているところもある。そうした観点から、この条例は実効性の伴ったものでなければならないと考えるが、具体的な取り組み案を聞く。</p>		

発言順位	17	議員名	寺井吉広(真誠会)
発言事項	<p><b>3 障害者の就労支援について</b></p> <p>(1) 就労支援強化について  (要旨) 明石市内の障害者就労支援の現状と今後の国の基本指針に準じた就労支援強化の取り組みについて問う。</p> <p>(2) 障害者雇用の今後について  (要旨) 障害者雇用については、これからも行政が積極的に雇用していく必要がある。市の今後の方針はどうなっているのか。</p>		

発言順位	18	議員名	永井俊作(市民クラブ)
発言事項	<p><b>1 明石市立保育所の給食について</b></p> <p>(1) 明石市立保育所の給食の「食の安全と食育、地産地消」について (要旨) 市立保育所の給食の「食の安全と食育、地産地消」の現状並びに今後の対策を聞きたい。</p> <p>(2) 保育所調理部門の民間委託と安全・安心な給食について (要旨) 安全・安心な保育所給食を提供できるかどうかは、技量を持った調理員が継続して働いてくれるかどうかだ。ところが、委託の調理員の退職が相次いでおり、危機的状態である。市の認識を聞きたい。</p> <p>(3) 保育所調理部門の業務委託の入札について (要旨) プロポーザル方式の入札は機能しているのか。今年4月から王子保育所の調理部門が委託されたが、受託した企業が担当している江井島保育所と土山保育所では調理員の退職が相次いでいる。どんな点を評価しているのか。コストが最大の理由なのか。</p> <p>(4) 事故の責任の所在について (要旨) 民間委託の保育所調理部門で、アレルギーや食中毒などの事故が起こった場合、その事故の責任は誰が取るのか。</p> <p><b>2 国勢調査の取り組みについて</b></p> <p>(1) 国勢調査の調査員の募集と確保について (要旨) 国勢調査の調査員として、多くの市職員が割り当てられ、本来の業務に影響が出ないか危惧している。調査員の募集はどのように取り組まれたのか。</p> <p>(2) 協働のまちづくりと国勢調査の調査業務への協力について (要旨) 調査員の募集に努力されたが、市民の協力が得られにくかったのか。市民との協働のまちづくりは機能しているのか。</p> <p><b>3 中学校給食の親子方式の実施について</b></p> <p>(1) 大阪市の小学校で調理した給食を中学校に配送する小中親子方式について (要旨) 大阪市は小中親子方式のモデル事業を実施・検証し、今後6年間で、順次、全中学校の給食を親子方式もしくは自校調理方式に移行していくとのことだが、市の認識を聞きたい。</p> <p>(2) 財政負担が少ない親子方式の実施について (要旨) 学校給食センターの建設には、約20億円の建設費がかかる。親子方式では小学校の調理室の整備や設備の入れかえ等が必要だが、財政負担は少ない。明石市は財政的に余裕があるのか。</p>		

発言順位	18	議員名	永井俊作(市民クラブ)
発言事項	<p>(3) 親子方式と地産地消について  (要旨) 親子方式は、給食センター方式に比べると調理数が少ないため、当然、地産地消を推進しやすいと考えるがどうか。</p>		
	<p><b>4 泉市政と自治基本条例について</b></p>		
	<p>(1) 明石市自治基本条例の検証と見直しについて  (要旨) 明石市自治基本条例第38条に5年を超えない期間ごとに検証し、見直しがうたわれているが、検証はどうなっているのかを聞きたい。</p>		
	<p>(2) 泉市政の市政運営について  (要旨) 平成27年7月10日付で、11人もの部長級職員の人事異動があった。11人のうち3人は4月の人事異動で異動したばかりである。新年度がスタートし、3か月後の部長級の大規模異動で、市政運営は大丈夫か。所管事務はどうなるのか。</p>		
<p>(3) 政策や事業の決定と市民参画について  (要旨) 明石港の再整備や西明石の活性化、転入者への生活支援のPR活動について、どのように議論し決定したのか。市民参画が欠落しているのではないか。</p>			

発言順位	19	議員名	遠藤 恒司 (自由民主党)
発言事項	<p><b>1 決算に見る明石市の将来について</b></p>		
	<p>(1) 明石駅前再開発、中学校給食の実施等も踏まえ、実質収支で39年間維持してきた黒字決算の持続、各種基金の積み増しと財政基金の積み立ての維持、資産から負債を差し引いた純資産の確保、将来のこととは言え、老朽化する多くの公共施設への対応、市庁舎の建てかえ等々にどのように対応をしようと考えているのか。</p> <p>(要旨) 将来において、多岐にわたる市民ニーズに応じていかねばならない。特別な事件・事故のない限り、現状の政治手法で健全財政を踏襲しなければならない。上記の諸問題と財政状況から、健全財政を維持しながらの基本的な取り組みについて確認しておきたい。</p>		
	<p><b>2 市の組織に技術部門の責任者が必要と考える</b></p>		
<p>(1) 中学校給食センターの建設時における土壌調査問題や、あかし斎場旅立ちの丘の施設の不具合等について、本市の主体性が問われている。どのような形で業者に発注していたのか。一連の作業の中で、問題の所在、その原因、責任はどのように考えられているのか。</p> <p>(要旨) 現時点で考えられることは、明石市に技術的責任者が不在であったこと、この種の事業が第三者機関に丸投げの傾向にあったのではないかと等々、問題を整理しておかなければならない。将来このようなことが再発しないようにするため、この際、問題の原因とその責任の所在を検証する。</p>			
<p><b>3 シティセールスとまちの活性化について</b></p>			
<p>(1) 各市町において何をいかにセールスするかといったアクションプランが大切であることは言うまでもない。また同時に、継続性を確保できるか、検証はいかにするか等々、地道な活動が重要と考える。市の認識を問う。</p> <p>(要旨) 最近、他都市においてもシティセールス事業が盛んに叫ばれている。そのスケールはまちまちで、セールスポイントは多種多様である。本市は、政策部にシティセールス推進室を設けて取り組んでいこうとしている。まちの活性化とも連動する事業であり、政策部全体で取り組まなければならないと思うが、その認識を問う。</p>			

発言順位	19	議員名	遠藤 恒 司 (自由民主党)
発言事項	<p><b>4 今後の大蔵海岸整備事業について</b></p> <p>(1) 近年、大蔵海岸整備事業が収益的に扱われているが、本来は海浜レクリエーションゾーンとして、土地の売却を目的として整備したものである。その目的に整合するような取り組みがなされているのか。</p> <p>企業会計として管理されている状況では管理が行き届かないのではないか。現在の残存価格との関係はどのように認識されているのか。</p> <p>(要旨) 収入に比べ残った借り入れ額が大きく、採算的に問題であることは言うまでもない。財政健全化においても認識されていると思うが、これからの取り組みについて聞く。</p>		

発言順位	20	議員名	家根谷 敦子(スマイル会)
発言事項	<p><b>1 災害弱者といわれる障害者、高齢者、乳幼児への対応について</b></p> <p>(1) 障害者、高齢者、乳幼児に対する災害時における対応（支援）について  (要旨) 災害発生時の対応マニュアルの中に、障害者、高齢者、乳幼児への対応は含まれているのでしょうか。マニュアルは、周知されているのでしょうか。</p> <p>(2) 障害者への災害対策として、障害の特性や種別に応じた訓練の実施について  (要旨) 障害の特性や種別に応じた訓練などの予定はあるのでしょうか。</p> <p><b>2 障害者の職員採用について</b></p> <p>(1) 障害者採用の具体化について  (要旨) 平成28年度の職員採用の中で、障害者雇用の予定はあるのでしょうか。</p> <p>(2) 障害者採用と任期付専門職の配置による障害者施策の充実について  (要旨) このたび、手話通訳士2名が任期付専門職として採用され、障害者施策の立案などにもかかわるとのことですが、障害者採用と任期付専門職の配置を実施することによる福祉施策の効果をお聞きします。</p> <p><b>3 手話言語・障害者コミュニケーション条例施行の成果について</b></p> <p>(1) 手話言語・障害者コミュニケーション条例施行による成果と今後の取り組みについて  (要旨) 同条例の施行に合わせて、手話言語を初めとする障害者コミュニケーション手段の促進に向けた施策の充実が努められていることを、障害を持つ当事者として実感している。条例施行の成果について市としてどう見ているか、また今後のさらなる充実についてお聞きします。</p>		